

3月

おたより

しいのみ
たんぽぽ
みず

昼夜の寒暖の差はありますが、日中のホカホカな陽気が春を感じさせています。春を待ちわびていた子どもたちは戸外あそびや散歩をいつも以上に楽しんでいます。いよいよ今年度もあとわずかにになりました。この1年で大きく成長した子どもたちの姿があります。

たんぽぽぐみ

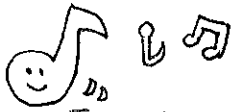
たんぽぽぐみになってから2カ月に1回程のペースで北野天満宮まで足をのびて散歩してきました。どんぐりやまつぼっくりを拾ったり、階段横の三つこをすべり台にしたり、電車ごっこをしたり...行く度に自分たちであそびを見つけ楽しんでいきます。今回は大人が一人通れるくらいの溝で電車ごっこが始まりました。保育者がその溝をまたいでトンネルを作ってみると、一人の子どもが「わたしも」としようとします。でも足がとどきそうにありません。少し考えて...このように身体全部を使ってトンネルを作りました。保育者が感心して見ていると、周りの子どもたちが次々に真似して大盛り上がりしました。「トンネルですー」「○○ちゃんここあってー!」とみんな楽しんでひと時を過ごしました。

ひとつおおきくなるよ

成長の著しい1歳クラスです。4月からたくさんの「できた」を重ね、心も身体もぐんと大きくなりました。初めは一人のあそびであつたところから、何となく同じ空間にいることを楽しむけれど一人ひとりそれぞれあそんでいるという姿になり、今では、同じあそびを楽しみ、気持ちを共有することを喜ぶという姿に変わってきました。言葉も身体の使い方も身の回りのことも、目に見える成長もたくさんありますが、大人や子ども同様に気持ちのやりとりを楽しむ力や、小さなこともできる!という自信のような、目に見えない成長もたくさんあり、大きくなったなあと思ひ返しています。来年度はみずぐみです。子どもたちも大きくなった自分を感じ期待感を持って進級するよう、毎日楽しく過ごしたいと思っています。1歳の子育ては大変但也有りますが、とても可愛く面白い時です。その時を共に過ごし保護者の方と一緒に成長を感じてくれたことを嬉しく思います。1年間ありがとうございました。

みずぐみ

大將軍神社。



少し長い距離を「がんばって」「もう少し!」と励まして歩くとようやく一条通りが見えてきました。大將軍神社に着くと神社の方に「おはようございます」とみんなであいさつします。すると、「おひなさま見てくださいね」と声を掛けていただきました。みんな「さわらない」と約束をして見ます。そのおひなさまの前でひな祭りの時にみんなで歌った、「うれしいおひなさま」の歌をうたいます。五人は「やしの〜と歌った戸で、これが「五人囃子」だよ」と保育者が言うと「かわいい」「おんなのこみたい」と言う子どもたちです。それから境内にある石垣を「よいしょ」と足をかけて何回も上がる子どもや、石少利の道を走って転んで、涙しても自分で立ち上がります。保育者が「大丈夫?」と声をかけるとにっこり笑顔になる子どももいます。帰りは西大路通りを歩くのですが、6カ月前は「あるけない〜だこ〜」と涙していた子どもも、今では友だちと手を繋いで、車の名前を言ったり「キャベツの中かーら」と手あそびの歌を大きな声で歌って歩いて保育園まで帰ってきました。

「〜のつもり」ごっこあそび

園庭あそびの中で、石や葉っぱをカレーの材料に見立てて、鍋に入れスプーンでかきまぜ「カレーつくねん」と手つきは大人顔負けです。また室内あそびの中では積み木を電話のつもりで「もしもし...はい...それで...」と話しています。毎日繰り返しのあそびを保育者がはたらきかける事でイメージが膨らみ、つもりあそびが発展していきます。そして、自分の思いや想像をどんどん言葉にするようになり、それがまわりの友だちにも広がり、より楽しくなっています。

1年間、ご理解、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。

初めて小麦粉粘土をつくって遊びました。粉の状態から触ってみると、指先が白くなり、「なんだろう...?」と不思議そうに見ています。そこに少量の油と水を混ぜ、こねると粘土状になります。その様子もじっと見入っています...保育者がひとかたまりにして渡すと早速のはしてちぎったり、手のひらで叩いて色々とやってみます。ちぎった粘土を食べ物に見立て「パクパク」と口を動かして保育者に「食べて〜」と渡す子どももいます。柔らかい粘土の感触を知り、ちぎる、のはす、叩いて形を潰す等手先も使って遊ぶことで想像力も膨らませ楽しむことができた



一年を振り返って...

入園した頃は首がすわったばかりの子どもやハイハイで移動していた子どもたちでした。朝登園してお家の方と離れる時は大泣きしている子どももいましたが毎日登園することで保育園が少しずつ安心できる場所になり、新しい場所や遊びも楽しめるようになりました。年間を通して遊ぶ・食べる・身体を動かすことに重点を置き、過ごしてきました。

遊ぶ

個々遊び満足してきたことが、少しずつ周囲に目が向き始めています。散歩へ行くと色々な物を見つけて保育者に知らせ、共感の気持ちが強くなりました。友だちが楽しいことをしていると、同じようにしてやってみたり、誰かが使っているおもちゃが欲しくて取ってしまったり...様々な遊びが広がっています。

食べる

離乳食でミルク以外の味を知り、移行食、乳児食へと段階を踏んで食材、味、固さ等のたくさんの初めての経験をした。手づかみ食べ=自分で食べることを大切にしました。

身体を動かす

歩く、ハイハイ、乗り越える、登る等を遊びの中で取り入れ楽しんできました。毎日の階段の登り降りや戸外で歩く、ハイハイをすることは身体づくりにとっても必要です。最初は思うようにできずに困っていた子どもも、今では積極的に動くようになっています。

これからももっともっと大きくなろうとしている子どもたちをお家の方と共に見守り、「楽しいなあ」という子育ての話をしたいと思っています。

一年間ありがとうございました。



みんな大きくなつてよ